

防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組（1）

大雨特別警報解除後の 洪水への注意喚起

令和2年8月7日

➤ 背景

- ① 気象庁「住民向けアンケート調査」
- ② 大河川の特徴

➤ 課題

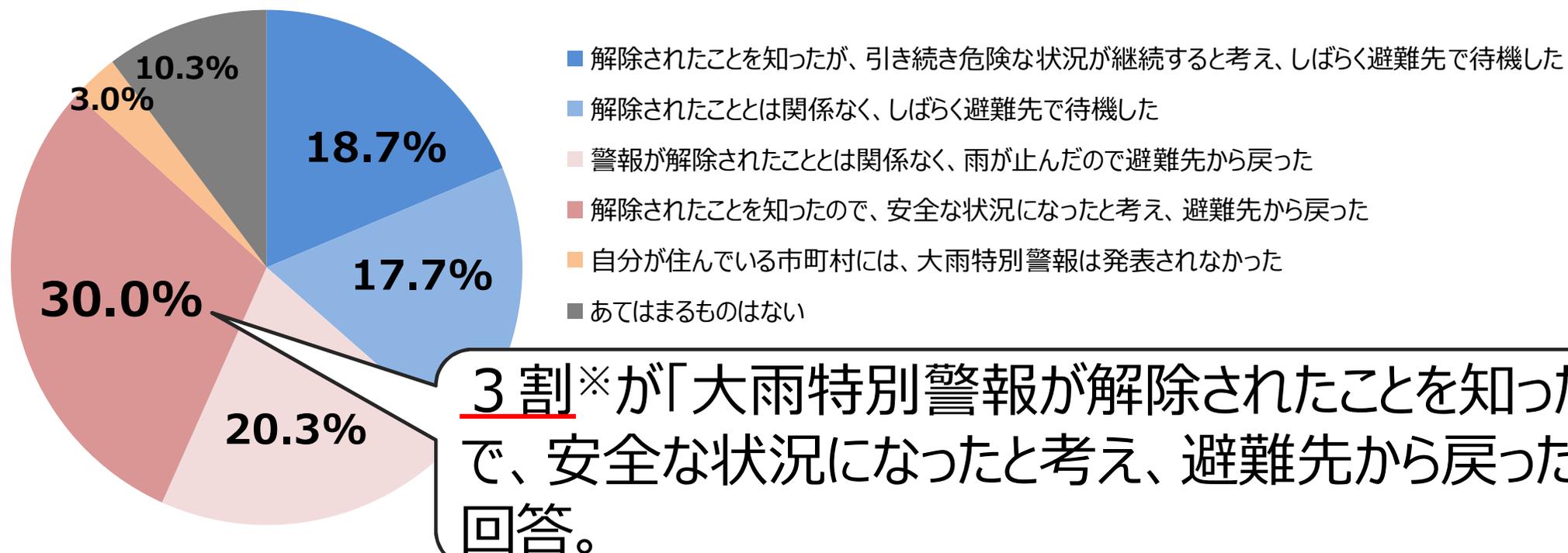
➤ 改善策

- ① 表現の修正、洪水の見込みを発表
- ② 記者会見の実施
- ③ 警戒レベルを用いた解説の改善

➤ まとめ

背景① – 気象庁「住民向けアンケート調査」–

台風第19号（令和元年東日本台風）では、大雨が弱まって「大雨特別警報」が解除された時間帯にどのような行動をとりましたか



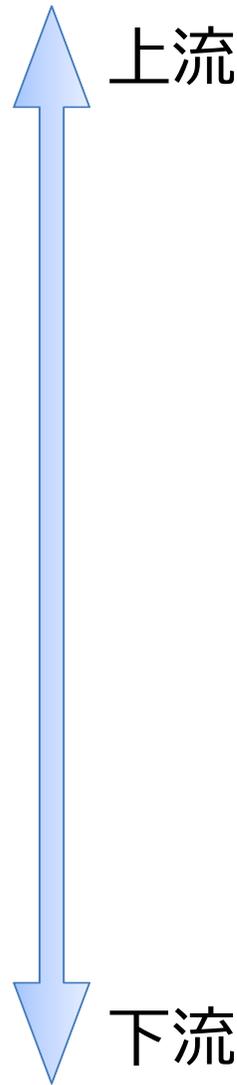
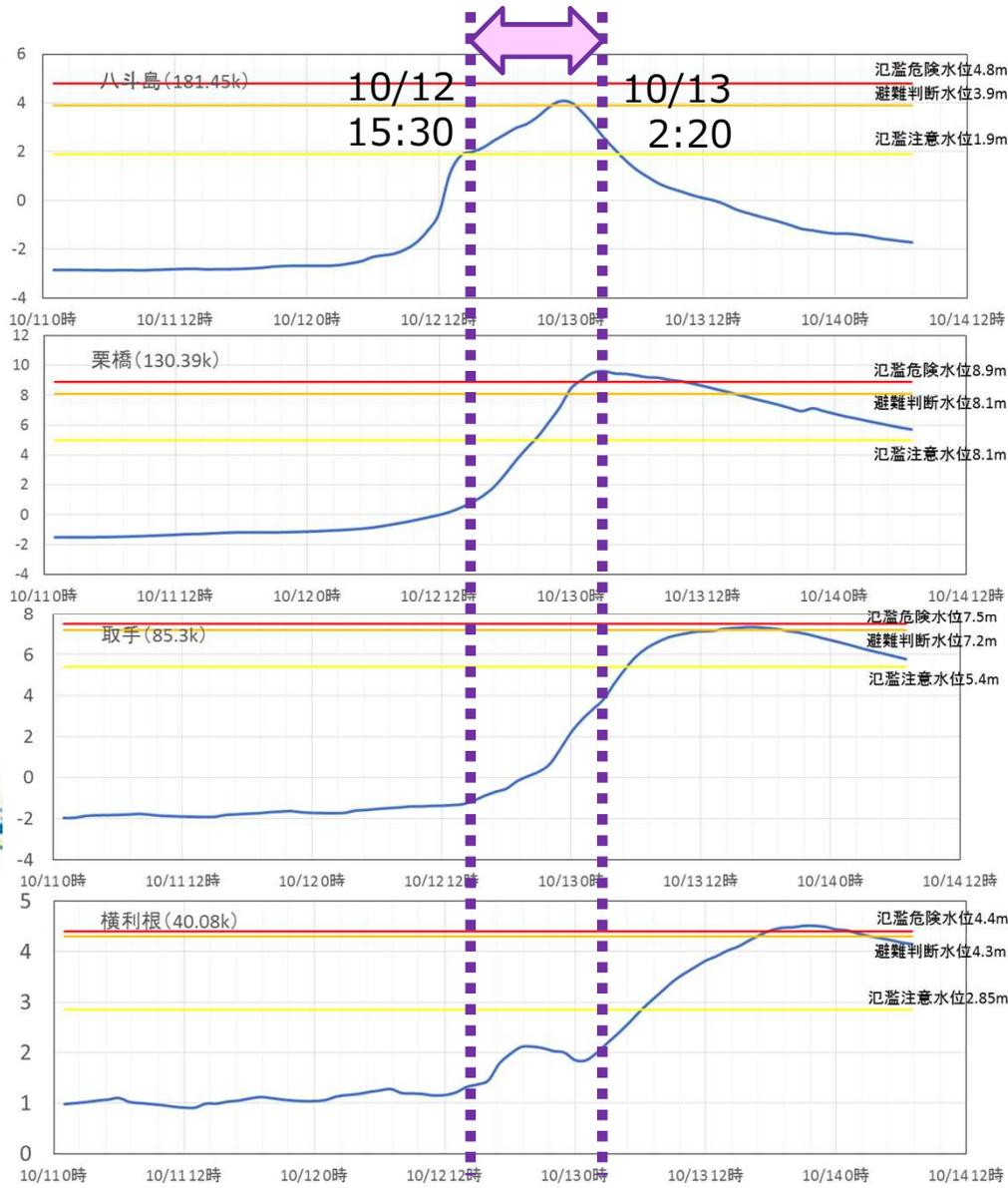
※「台風第19号等を受けたアンケート調査（Web）」結果より集計。（回答数は2100のうち東日本台風（台風第19号）時に何らかの避難行動を実際にとった300）

背景② – 大河川の特徴 –

- 大河川では、降雨が河川に流出するまでに時間がかかる。
 - 東日本台風において、利根川などの大河川では、大雨特別警報が解除された後に下流部で最高水位に到達し、その後に氾濫が発生した事例があった。

背景② 大河川の特徴

埼玉県、群馬県、茨城県、栃木県内で最初に大雨特別警報を発表した時刻からすべての大雨特別警報を解除した時刻まで



※各観測所の水位の状況に応じて、洪水予報を発表

※「第1回 河川・気象情報の改善に関する検証会議資料2」(令和元年11月14日)より(一部加工)

- 特別警報を「解除」と表現したことから、警報が継続していることが伝わらなかった可能性。
- 大雨特別警報が解除された後の大河川の洪水に対する警戒の伝え方が十分でなかった。
- 大雨特別警報の解除が安心情報と誤解された可能性。

改善策① – 表現の修正、洪水の見込みを発表 –

➤大雨特別警報解除後の洪水への警戒を促すため、「特別警報の解除」を「**警報への切替**」などと表現。

➤警報への切替に合わせて、

- ✓ 最高水位の見込み
- ✓ 最高水位となる時間帯

などの今後の洪水の見込みを発表。

大雨に関する熊本県気象情報 第12号
令和2年7月4日12時23分 熊本地方気象台発表

大雨の峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替えましたが、球磨川では氾濫が発生している所があるため、洪水への一層の警戒が必要です。指定河川洪水予報をご確認ください。

球磨川洪水予報(臨時)
令和2年7月4日12時00分
国土交通省 八代河川国道事務所
気象庁 熊本地方気象台

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 球磨川 には、**氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)** を発表中です。

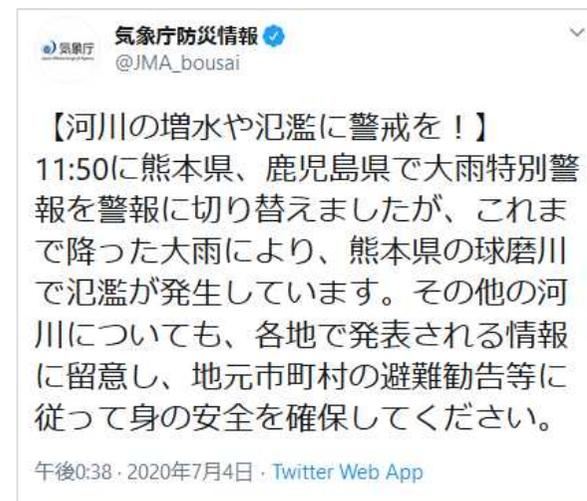
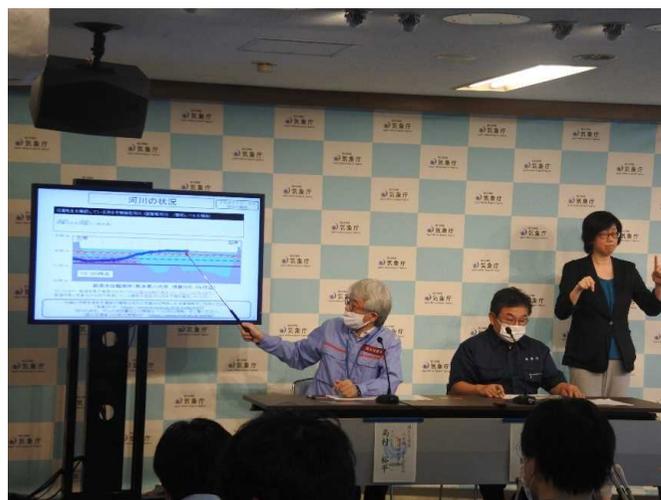
河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
球磨川	萩原 (熊本県八代市)	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
球磨川	大野 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	渡 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	人吉 (熊本県人吉市)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	一武 (熊本県球磨郡陰柳町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい
球磨川	多良木 (球磨郡多良木町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい

発表中の指定河川洪水予報は下記のサイトからご覧いただけます。
川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
気象庁HP <https://www.jma.go.jp/>

改善策② – 記者会見の実施 –

- 警報への切替に先立って、国土交通省・気象庁の合同記者会見等を開催
→メディア等を通じた住民への適切な注意喚起
- SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説等、あらゆる手段で注意喚起

JETT：気象庁防災対応支援チーム（JMA Emergency Task Team）



改善策③ – 警戒レベルを用いた解説の改善 –

➤ どの警戒レベルに相当する状況が分かりやすく解説。

- ✓ 「引き続き、避難が必要とされる警戒レベル4相当が継続。なお、特別警報は警報に切り替え…」などと伝える

名称：警戒レベル 発信者：市区町村等 内容：避難情報		名称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や都道府県等 内容：河川水位や雨の情報		
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
			浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
4	危険な場所から 全員避難	避難勧告 （避難指示（緊急））	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報	2相当 氾濫注意情報	—
1	最新情報に注意	早期注意情報	1相当 —	—

※「避難行動判定フロー・避難情報のポイント」（内閣府）より

まとめ

課題

- 大雨特別警報が解除されたことにより安全な状況になったと考え、避難先から戻った方がいたことが判明。

改善策 (今出水期より開始)

- 「解除」ではなく「切替」と表現
- 切替に合わせて河川氾濫に関する情報を発表
- 国土交通省と気象庁との合同会見などあらゆる手段で注意喚起
- 警戒レベルを用いて分かりやすく状況解説

➡ **特別警報切替後も、引き続き洪水への警戒が必要な場合には、警戒を継続していただけるようになることを期待。**